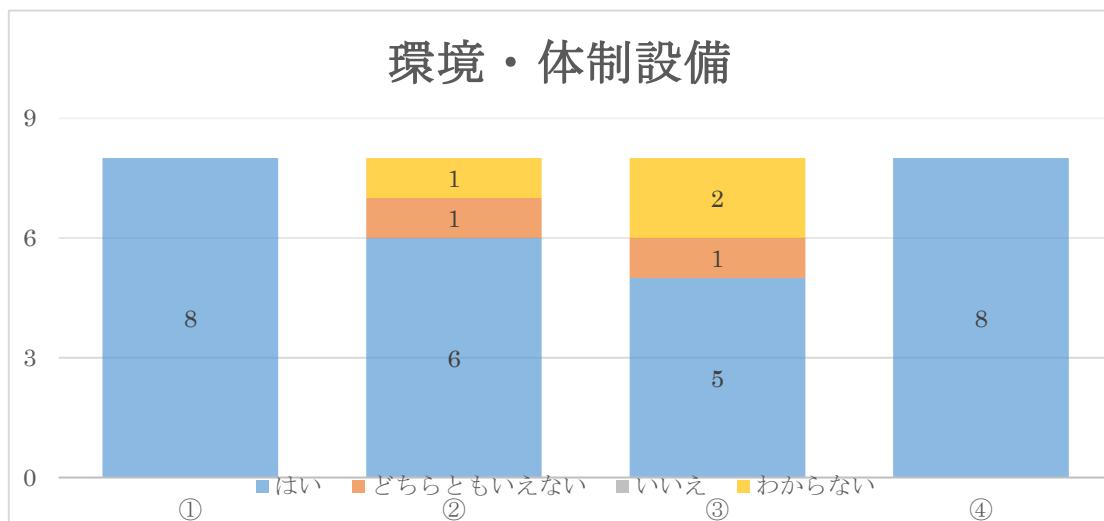


令和7年 児童発達支援評価表

【環境・体制整備】

- ① 子供の活動等のスペースが十分に確保されているか。
- ② 職員の配置数や専門性は適切であるか。
- ③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。
- ④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。



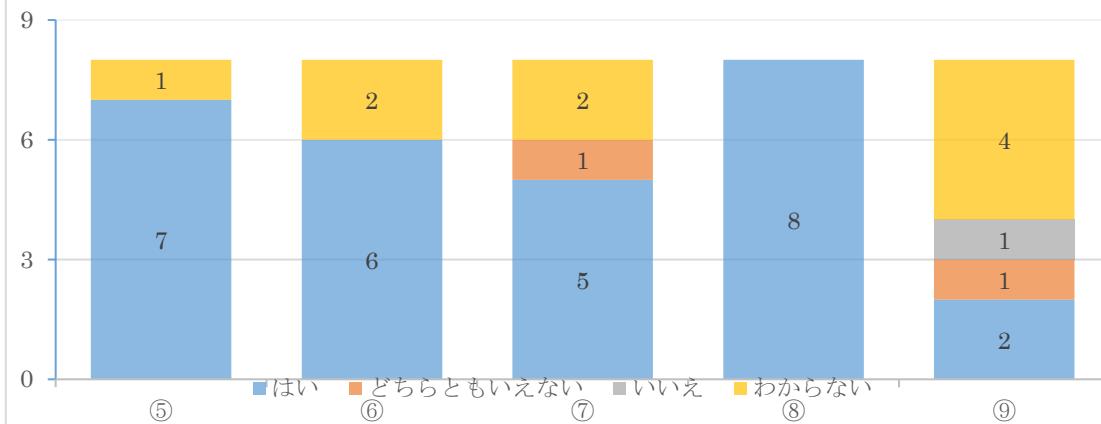
ご意見

[②に関して：言語療法士など専門の有資格者が居てくれるとより専門的に相談できる。]

【適切な支援の提供】

- ⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。
- ⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。
- ⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。
- ⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。
- ⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。

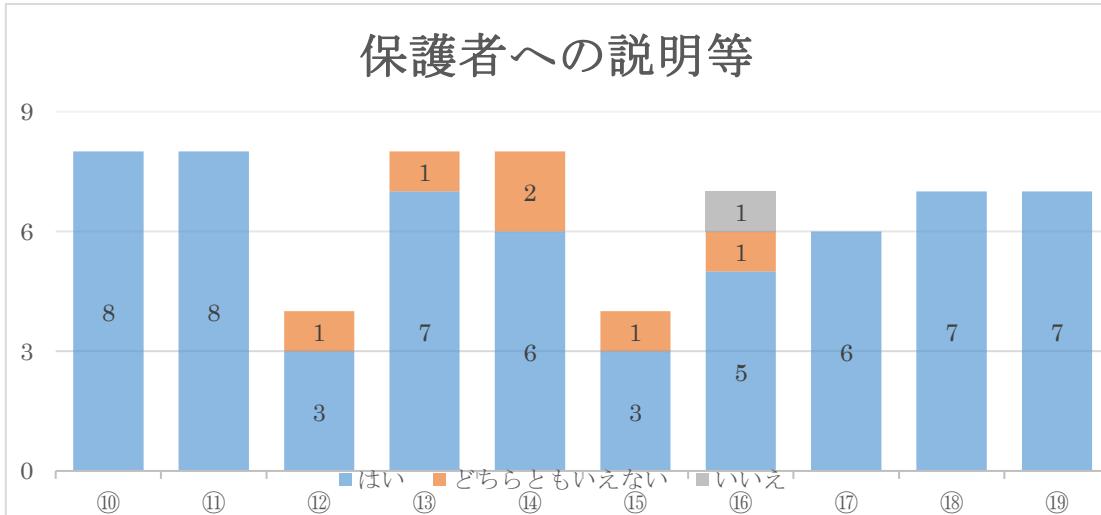
適切な支援の提供



【保護者への説明等】

- ⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。
- ⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。
- ⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか。
- ⑬ 日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解が出来ているか。
- ⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。
- ⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか
- ⑯ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されるとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。
- ⑰ 子どもや保護者の意見の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。
- ⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。
- ⑲ 個人情報の取り扱いに十分注意されているか。

保護者への説明等

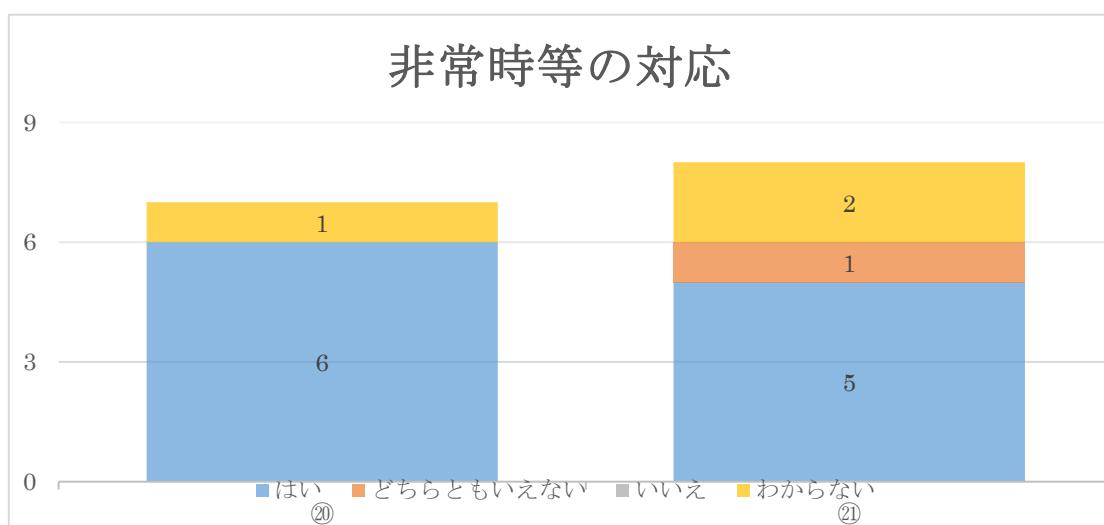


ご意見

- ⑬に関して：コドモンで質問しても確認済ボタン押下で終了されていたり、質問に対して回答しても確認済で終了で応答がないため困惑しています。
- ⑭に関して：半年に1回は定期的に充当していますか。
：送迎の際などに子どもの状況もふまえてお話しを伺えています。

【非常時等の対応】

- ⑯緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。
- ⑰非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。



【満足度】

㉚子供は通所を楽しみにしているか。

㉛事業所の支援に満足しているか。

